

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	すまいるガーデン			
○保護者評価実施期間	令和 7年 6月 1日		～	令和 7年 6月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27名	(回答者数)	21名
○従業者評価実施期間	令和7年6月1日		～	令和 7年 6月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数)	8名
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7年 9月 1日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> ・あい・さかい・サポートリーダーが令和7年7月現在、6名 ・全職員が有資格者である。 ・勤続年数の長い職員が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外部研修へ積極的に参加。また、その為の職員のシフト調整。 ・外部研修で持ち帰った情報、内容の共有。 ・研修に参加する職員は固定化せず、誰でも参加可能。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな資格取得の為の協力。 ・虐待防止、身体拘束適正化委員会の開催。年1回以上 ・研修や委員会開催日でなくても、日頃から、個別の事案等についての話し合いの時間が多く、また申し送りノート等で、その場に居ない職員とも情報共有している。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・広いとは言えない活動スペースが故に、それを補う、戸外活動(社会体験・地域のイベント参加等)が豊富である。 ・種類豊富な玩具、文具が有り、子ども達が主体的にしたい事を選択出来る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・イベント企画立案時には、リスクも含めて、なるべく職員全員でアイデアを出し合っている。 ・室内に設置している玩具類は、曜日、利用児童に応じた物に入れ替えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな公共施設の利用、開拓の為の情報収集。(設備・費用・移動経路・リスク等) ・戸外活動時は職員を増員し、安全に活動出来る様、努めている。 ・子ども達が主体的に活動、遊びを楽しめるよう工夫しているが、ハサミ等、危険を伴うと思われる物は安全上、職員が管理している。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者向けの評価シート提出者の返答、こどもは安心感をもって通所していますか。事業所の支援に満足していますか。の項目、今回も、どちらも全員が「はい」の回答であった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援の作成と実施に終わらず、楽しく通所してもらえる様、日々の子ども達との関わり、活動内容の工夫や季節毎の行事等を充実させていく事に努めています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者からの回答に甘んじる事なく、今後も、子ども達が楽しみながら成長していける活動プログラムを維持、改善していきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> ・建物の構造上、完全な個別のスペース、部屋を確保する事が難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・左記に同じ 	<ul style="list-style-type: none"> ・限られたスペースの為に、状況、状態に応じて、優先度を判断する事で、順番に譲り合って、場所、部屋を使用してもらう。 ・クールダウンや着替え等で、個別のスペースを使用する際には支援者が別れる為、対応出来る、必要な人員を確保する事。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・父母の会の活動の支援や保護者会の開催等の交流の場を設けることが出来ていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者様同士の居住地が広範囲である事、デイサービスを複数利用されている事もあり、物理的な設定が難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・父母の会では無いが、親子参加型のイベントプログラム等は検討していくが、開催地や、それぞれご家族様の移手段等が大きな障壁ではある。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方の招き入れや、交流などを積極的に行っていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外部の人間による情報の持ち帰りや、精神的不安や、他害行為等児童の特性によるもの等、様々なリスクが考えられる為、中々積極的に取り組むことができていない。 ・保護者様の中には、事業所以外の人に顔、名前を知られる事を避ける考えもあり、個人情報の観点からも、交流には細心の注意を払う必要がある 	<ul style="list-style-type: none"> ・交流の機会を作る為には、左記のリスクを交流する側、保護者様と理解を得た上で進める事が必要と考える。 ・従業者も、所在地周辺の地域性、行事、活動を知らない事が多い為、まず知る事から、歩み寄り姿勢が必要と考える。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 すまいるガーデン

公表日 2025年 9月 1日

利用児童数 27

回収数 21

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	16	4		1	・スペースはもう少し広くていいと思いますが、工夫されながら、活動していると思います。 ・もう少し広いとありがたいと思います。 ・スペースは狭いですが、その分目の行き届く部分があると思う。	・戸外活動を取り入れる事で、体をのびのびと動かしてもらおう事や、社会経験の構築にも繋がっています。 ・必要に応じて利用曜日の調整を保護者様にご協力いただき、曜日ごとの利用人数の調整をする事で、限られたスペースでも、快適に過ごしてもらえよう様努めています。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	21					
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	18	1		2	・施設内に入る事がないのでわかりません。	・車椅子利用の児童への対応も出来る様、入口の段差は最小限に、手洗い等はバリアフリーとなっています。 ・絵カードや、ホワイトボード等、視覚的サポートも、必要に応じて活用しています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	18	1		2		・1のチェック項目同様、室内のスペースの問題がある為、必要に応じて利用曜日の調整を保護者様にご協力いただき、曜日ごとの利用人数の調整をする事で、限られたスペースでも、快適に過ごしてもらえよう様努めています。
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	21					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	21					・本年度より支援プログラムの公表が義務化され、ホームページ等に掲載し保護者様に向けて公表しています。 ・現在は支援プログラムに沿った活動や子ども達の様子をホームページにて、写真やブログ形式で、定期的に発信、更新しています。
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	20				1	
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	20				1	・令和6年4月から個別支援計画書の様式見直しのお示し時より、本人支援、家族支援、移行支援の項目に加え、本人支援には5領域の視点を盛り込んだ内容で、計画書の作成をさせていただいています。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	21					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	21					・固定化されている物もありますが、内容は微妙な変化を加える等、工夫にも努めています。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	8				13	・様々な活動をして下さっているのですが、質問内容に当てはまるか分かりかねます。 ・週2日、学校の時間も長くなり、短時間の通所で交流は難しく思う。 ・知ってもらえる機会にはなっていますが、コミュニケーションが取り辛いと交流は難しいかなと思います。 ・土曜利用が多い為、わかりません。 ・個人的にはなくても良いです。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	21					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	20	1			・計画書に目を通してサインしてお渡しする感じです。	・ご要望があれば、再度の説明や、修正等、柔軟に対応させていただきます。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	10	2	2	7	・子供の特性がそれぞれ違うので、研修などは各自で参加すれば良いと思います。 ・参加した事ありません。 ・家族が参加出来る何かはないかなと思います。	・保護者様からご要望があれば、研修会のお知らせや、その情報提供はさせていただきます。 ・事業所主催での研修会等は今の所検討しておりません。

保護者への説明等	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状態について共通理解ができていると思いますか。	21				・個別に課題、目標を設定し、連絡帳兼、活動記録表を用いて、利用毎の様子と、評価をさせていただいています。また、帰宅送迎時に、必要に応じてお子様の事についてお問い合わせもありません。ご不明な点がございましたら、相談等、対応させていただく体制はと問えています。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	17	3	1		・定期的な面談はないと思います。 ・面談の曜日、時期は固定化しておらず、要望により、柔軟に対応させていただきます。また、電話対応や連絡帳を通じてのやり取りなど、形態を選ばずに対応しております。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	20			1		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	8		4	9	・特にならぬように感じます。 ・兄弟は居ません。 ・こちらの事業所では保護者同士の交流等はないのでわかりません。 ・交流の機会はありません。 ・保護者同士の交流の場等、ニーズがあれば検討はしますが、地域の園や学校とは異なり、各保護者様の居住地、家庭状況、交通手段等を考慮すると、機会の設定には調整の難しい部分が多い。 ・ご家族様参加型のイベント等については、今の所、様々なリスク(見知らぬ方が入る事による精神的不安定や他害行為)や、ご家族様が求所される手段を考慮すると、現状では開催は難しいと考えています。	
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	20			1		・いつでも相談には形態を選ばず、対応出来る様、体制を整えています。また、保護者様からの発信以外にも、私達支援者側から気になる事がある際には、日頃活用していただいている連絡帳や、電話でお尋ねする場合もあります。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	20	1				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	18			3		・lineがあれば助かると思う事があります。 ・当事業所のホームページより、活動概要、行事予定、この評価の結果等、発信しています。 ・ネットを見ないという方も一定居られる事と思いますが、重要なお知らせに関しては紙での配布も行っています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	20	1				・顔と名前が一致する写真をHP上で掲載されました。 ・事前に誰でも閲覧できる投稿か、会員専用のページのみ掲載、若しくは掲載をしない選択を保護者様にさせていただいています。 ・基本は名札等、名前の分かる物は避ける様に心がけていますが、人間による確認の為、抜けが出てきます。都度ご指摘があれば削除等対応を迅速にさせていただきます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	21					
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	20	1			・年に2回、利用児童様と一緒に火災、地震想定での訓練を行い、その都度ホームページにも活動の様子を発信しています。	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	20			1	・当事業所の安全計画、避難経路、事象別緊急対応マニュアル等、ホームページ上に再掲載させていただきました。	
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	20			1	・事故、怪我等がないので、わかりません。 ・最善を尽くした対応が出来る様、体制を整えています。	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	21					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	21				・お子様に必要と思われる個別支援の設定と実施に終わらず、楽しく通所してもらえる様、活動内容の工夫や季節毎の行事等を充実させていく事に努めます。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	21				・いつも楽しみに通っているので、安心しております。ありがとうございます。	

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	すまいるガーデン	公表日	2025年	9月	1日
------	----------	-----	-------	----	----

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	2	<ul style="list-style-type: none"> ・狭い空間ではあるが、なるべくフラット感を保ち安全確保に努めている。 ・広いとは言えないが、目が行き届くという点では、現状の職員数、児童数から最適であると考え。 ・療育室の広さは十分とは言えないが、活動に応じて家具の配置を工夫し、安全配慮に努めている。 ・規定内のフラットで、シンプルな空間である為、スペースをフレキシブルに使える。 ・支援室のスペースについては、少し狭さを感じているが、必要に応じて2F支援室等を使う等工夫しています。 ・全体が見える様に工夫されている事で、子ども達の様子がよくわかる。 ・規定を満たしたスペースの中で、状況に合わせ、玩具や家具の配置にも工夫しながら、整備を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・室内での活動は年齢、体格差、個人個人の特性等に留意し、利用曜日の職員の体制や、利用希望曜日の調整により、狭い室内でも安心、安全に過ごしてもらえる様工夫しています。 ・室内に留まらず、屋外、公共施設の利用により、スペース問題をカバーしたい所はあるが、戸外活動出来る曜日、時期は限定されてしまう。 ・狭さは感じつつも、スペースは規定内であり、移転の検討等はない為、安全の配慮、活動内容の工夫で、引き続き運営していきます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> ・適切な配置がされている。 ・専門知識を有する職員もおり、細やかな配慮が出来ると思う。 ・特性に応じて、職員が配置されている。 ・配置数は適切であるが、職員数がさらに増員出来れば、より手厚い支援が行える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用定員に対しての配置数は満たしていても、煩雑化する書類、研修、マニュアル策定、訓練等、業務時間内に収める為の人員は足りないと感じるのが現状である。 ・職員の配置数は整えていても、様々な事由で欠員が出る事も考えられ、その補填が効く体制は常々の課題。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> ・設備や配置の配慮は狭い空間ではあるものの、適切になされている。 ・現状利用している児童にとっては、問題のない環境であると言える。受け入れの段階から検討が必要であるが、室内フラットであるものの、車いす利用や、視覚聴覚に障害がある場合、整った環境であるとは言えず、受け入れる場合、大幅な改善が必要と考える。 ・フラットでシンプルな空間なので、家具の配置等でコーナー分けもしやすい。パーテーションの様な仕切りがあれば尚良し。 ・子ども達が分かりやすい様、一目で、トイレ、手洗い等、使いやすい様になっています。 ・安心して過ごせる様に、全体が見通しの持てる配置や声かけを工夫している。 ・バリアフリーには対応していないものの、児童の特性や、人数に応じて環境整備を行い、安全の確保にも努めている。また療育室内は全体が見渡せる様になっており、児童らの行動把握がしやすい。 ・全体が見れる構造となっている為、目が行き届きやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年数が経っている為、今後安全上補修や改修が必要となる箇所が増えてくる事も想定しており、必要に応じて環境整備に努めていきます。 ・新規利用契約の際には、施設見学を必ずしてもらい、事業所の設備、環境を把握してもらいます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	1	<ul style="list-style-type: none"> ・こだわりや定位置を好む児童も居る為、必要に応じて活動に合わせ、整えている。 ・生活空間がどうしても限られたスペースになってしまう為、換気等不十分な場合がある時もあります。なるべく窓を開ける等出来る限りの事はしています。 ・子ども達が安心して過ごせる様に活動する場所は常に清潔に保たれている。 ・療育時間の前後に清掃と、整理整頓を行い、安心して活動が出来る環境作りを常に心がけている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・狭い空間の為、先の感染症流行の際や、毎年のインフルエンザ流行期、新たな感染症流行の際には、室内の予防対策、換気、消毒液類等の備品の整備が継続的な課題であり、事業所で感染拡大させない、最善を尽くす。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	3	<ul style="list-style-type: none"> ・普段使いではないが、個別に対応する必要がある際は2Fの空間を提供している。 ・1のチェック項目の通り、広さの問題、目が行き届くという特性上、個別の部屋は無い。但し、クールダウンや、個別にお話を聞く為のスペースは2Fにある。 ・個室はないが必要に応じてコーナーや状況に適した空間を工夫して提供出来る様に務めている。 ・2Fの個別スペースを設けている。 ・活動する場所の工夫をしている。 ・完全な個別部屋の確保は状況によっては難しい事もあるが、個別対応出来る環境である。 ・勉強する場合は学習机を使用する事を提案している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・過去に取り乱し攻撃的な行動に出してしまう児童を、落ち着いてもらう為、二階の療育室にて安定を図ったが、落ち着く事が難しくなっている児童と階段を上がらないといけないという危険リスクがある。同様の対応が必要な際、職員の体制により危険を回避する。若しくは別の方法を考える等、その時々での最善の判断が必要。 ・一度に何人もが、個別の部屋、場所の必要が出てきた時には、スペース、部屋に限りがあり、対応が難しい場合も考えられる。

業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の会議内容や振り返りを盛り込み行っている。 ・日々の子供の様子から定期的に目標に添って支援した内容を書面化して全職員が認識しやすくしている。 ・日頃から職員間で話し合う時間を設けています。 ・職員全体が子ども達の様子を共有し、意見を出し合ったり、振り返ったりしている。 ・随時目標を設定しながら、取り組み、振り返りによる再確認をしている。 ・計画に基づき、個別の目標達成に向けて療育を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・改善にスピード感が求められる場合や、全く別のアイデアを出す事、それらを取り入れる為には、PDCAサイクルの枠では対応が難しい事もある為、柔軟性を大事にしたい。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> ・評価アンケートの配布等により、把握する機会を設けている。 ・小規模事業所の特性上、保護者向け評価表の評価が、本心で記入されているかどうかは疑問である。 ・評価表は職員全員目を通すようにしており、その内容で改善出来る所は改善する様にしています。 ・保護者からの意向は特に改善要望に目を向け、出来る限り対応している。年に1度保護者向け評価表の配布、回収にて把握する機会もある。 ・職員会議を行って、改善をどうしていくのか、話し合いをしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・評価表配布時に、回答、提出期限を設けているが、提出の無いご家庭も一定数居る。複数事業所を利用されている場合、その数だけ、回答しないといけない負担は大きいものとも推察され、期限が迫っている、若しくは過ぎている保護者に対し、提出をお願いする事に気が引ける所がある。その為、提出して下さった物でも、その回答内容が全てではない事も理解しておかないといけないと考える。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフ間で相互に意見やアイデアを出し合い改善に繋げている。 ・常に職員間で気付いた事、問題点を口頭や書面に表し、改決、改善への問題提起している。 ・日々職員同士での話し合いは常々しています。 ・子ども達の特性や関わり方等、職員間で共有し、日々の支援の質が安定するように工夫している。 ・些細な事でも意見を出し合い、方向性を明確にしながら改善へと繋げている。 	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	5	<ul style="list-style-type: none"> ・第三者による外部評価は行っていない。 ・今の必要性を感じない。 ・外部の第三者が評価を行う機会はないが、担当者会議等で業務の取り組みを知ってもらう機会はある。 ・客観的な視点からの評価で、課題や強味を把握する事が出来る。 ・外部の評価を受けて、改善対策に繋げていきたい。 	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> ・外部研修の機会があればシフトの調整を行い参加している。 ・研修を受ける機会が設けられていて、参加した職員が全体に共有する内部研修も行っている。 ・コロナ禍で一時は外部研修が少なくなっていたが、徐々に機会も増えてきている。 ・自身の向上を目指して、率先して研修に参加している。 	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> ・令和7年4月1日より自社HPにより掲載している。堺市届済。 ・職員全員でも共有している。 ・日々の児童らの変化にも留意しながら、職員間で意見を出し合っている。 	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> ・児発管により、おおむね半年に一度見直しの上、計画が作成されている。 ・職員全体で話し合い、支援内容を工夫している。 ・児童の療育中の様子については、支援を行いながら、しっかり把握し、ご家庭での様子や保護者ニーズについては、モニタリングシートを活用し、作成出来ている。 	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> ・計画書の作成にあたり、原案意見会議を開催し、情報の共有、周知等行われている。 ・支援員も会議に参加し、日々の関わりの中で子どもの変化や様子を話し合っている。 ・児童発達支援管理責任者を中心に、日々の様子や、課題について、意見を出し合い、達成しやすいステップ等も取り入れながら、それぞれの児童に合わせた計画を立てる事が出来ている。 ・達成していない、継続する事以外の様子や、困り事を話し合う事を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度より、計画書の様式変更。必要記載項目の増加や、その解釈の複雑化により、共通理解のもと作成する事が難しい為、作成者の解釈の基作成している。以前の物より、複雑で、わかりにくくなっていると、保護者も感じているのではないかと。また、アセスメント～個別支援計画、専門的支援実施計画、これらと連動した、個別の活動記録(連絡帳)と、一人につき9種類の書類が必要となり、紙の消費量が増加している。(保護者様保管分も含む)
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> ・計画内容をしっかり把握する必要がある。 ・計画は職員全員が見られるようになっていて、活動に活かしている。 ・利用する児童それぞれの計画を把握しながら、支援を行っている。 	

適切な支援の提供	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> ・フォーマルアセスメントはもとより、インフォーマルアセスメントにも注力している。本人の行動に加え、家族さん等への背景にも着目していく。 ・行政の指示等に従った書式や内容に添って行われている。 ・連絡帳やアセスメントツールを活用している。 ・連絡帳記載時には、フォーマルなアセスメントも意識しているが、療育時の行動観察にも留意し、職員間で情報を共有しながら、随時確認出来るようにしている。 	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> ・5領域を踏まえての計画となっている。又、具体的な支援方法や支援内容も設定されている。 ・子どもや保護者の意向を大切にしている。 ・職員同士でも内容を共有している。 ・ガイドラインにも基づきながら、児童それぞれの特性や成長過程を意識し、段階的に課題への取り組みが行えるよう支援内容を設定している。 ・本人支援だけでなく、個別に家族支援等も組み込まれている。 	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> ・全スタッフ間で意見やアイデアを出し合い立案している。 ・職員間で相談しながら、季節のイベント等の活動にも取り組んでいる。 ・各活動プログラムの立案時には、職員間で意見を出し合っている。 ・常勤が中心となり、職員の意味も取り入れて行っている。 	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> ・一部固定化しているプログラムもあるが、利用者ニーズをふまえて工夫している。 ・子供の成長や状況に合わせて都度変更を試みつつ、工夫している。 ・定期的に見直し、話し合いを行っている。 ・児童の要望なども反映させながら、その時々合ったプログラムを立てている。 ・新しく出来た施設や、公園などを常にリサーチしている。安全を第一に考えている。 	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> ・個別目標、グループ目標を適宜必要に応じて作成、支援する事が出来ている。 ・子どもの体調や気分に合わせて活動内容を工夫している。 ・支援計画を基に、その日の児童のコンディション等も考慮しながら、個別活動と、集団活動を組み合わせ、支援を行っている。 	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> ・日々役割の確認やうつ合わせをしているが、時々全体周知に至らない事もあり、注意を払う必要がある。 ・非常勤の為、毎回参加は出来ていないが、引継ぎノートで前日までの連絡事項を確認している。 ・出勤時間がシフト制の為、異なる職員がいたり、送迎等で職員全員が揃う事が難しいので、申し送りノート等で日々の業務内容を含め、共有出来る様になっている。 ・毎日の活動後は子どもの様子を共有し合い、支援を行っている。 ・事前に得ている情報を共有、確認し、それぞれの役割についても認識した上で、円滑な連携、支援に繋がるようにしている。 ・外出するイベント等は、役割を決める事を必ず行っている。 	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	1	<ul style="list-style-type: none"> ・出来る限り行っている。全体周知が必要な場合は、申し送りノート等を活用している。 ・非常勤の為、毎回参加は出来ていないが、引継ぎノートに記入している。 ・全員でその日の振り返りを行い、子ども一人ひとりの様子を確認している。 ・終業時間が異なる為、全体としての打ち合わせは難しいが、その日の気付き等を主任に伝え、引継ぎノートに記入している。 ・職員間の伝達ノートに記入を行って全員が閲覧する事を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・終業時間が異なる為、全体としての振り返りや打ち合わせを日々行うことは難しいので、全体周知が必要な内容については各々が申し送りノートに目通しする等意識を固めておく必要がある。
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> ・活動記録等に加え、ひやりはつとの活用にも注力している。 ・記録に追われ、支援が疎かになる恐れがあり、記録の方法は適宜改善が必要と考える。 ・変化等あれば、記録に残している。 ・主に連絡帳(事業所保管分)を活用しているが、特記事項についても別紙に記入し、見返せる様にしている。 ・個別の連絡帳を保管する事で記録に残している。 		

	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> ・おおむね半年に一度丁寧なモニタリングが行われ、見直しを適切に行っている。 ・本人や保護者の思いに寄り添った支援を心がけている。 ・定期的な内容確認だけに留まらず、日々の様子もしっかりとモニタリングする事で適切な見直しにも繋がるようにしている。 	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> ・自立支援、創作活動、余暇活動、地域交流を踏まえ、支援を行っている。 ・4つの基本活動を踏まえた上で、長期休暇には、イベント等も取り入れながら、支援を行っている。 ・地域交流は少ないが、発達の状態に合わせて行っています。 	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> ・発語発信等の意思伝達が難しい児童については、「どっちにする？」等選択する機会を設けている。 ・子どもの「できた」体験を大切にしている。 ・自己発力を高める事が出来る様、サポートのタイミングにも留意しながら支援し、いくつかの選択方法を用いている。] ・計画に従って選択出来る様にアイテムを用意している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己発信力の弱い児童の意思の引出については、スタッフの支援力が問われる。受け身になりがちな児童やうまく発信することができない児童に関しては自己決定しやすい状況を導く必要がある。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> ・状況理解をしっかりとした上で、ケア会議には参画するようにしている。 ・子どもの様子が具体的に伝えられる者が参加している。 ・管理者が参画しているが、会議前には必ず職員からの聞き取り等で行きと状況を把握した上で、代表発信している。 	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	1	<ul style="list-style-type: none"> ・各機関との連携は支援に不可欠であり、出来る限り情報を共有した上で、支援体制の整備にあっている。 ・必要に応じて関係機関との情報の共有を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ときに友好的でない場合もあり、関係の構築が難しいと感じることもあるので積極的に連携体制を取ってきたい。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> ・学校により対応の温度差が見られるものの、出来る限り、連絡調整や情報の共有は行うよう努めている。 ・事業所としては最善を尽くしていると物と自負しているが、教育機関が上であるかのような概念を持たれている学校、教員も散見される為、円滑に行えない場合もある。 ・送迎時の引継ぎでのやり取りを大切にしている。 ・下校お迎え時には必ず担当教諭と引継ぎを行い、ご家庭にも確認した上で、行事、下校時刻等の把握を行っている。 ・月の下校時刻のプリントをいただける所にはお願いを申し出ている。先生に情報を聞いたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の学校は事業所に対し、直接行事予定や、下校時刻の開示が出来ない、という学校もあり、保護者を介して、確認する為、後手になってしまいうケースもある。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ケースごとに必要に応じて、情報提供や共有、申し送り等に努めている。 ・特に経緯としてはないが、必要があったり、要請があれば然るべき方法での相互理解に努める事は可能である。 ・情報共有が必要な場合は、責任者を通じて連携を図っている。 ・事業所利用開始時の年齢や学年によるが、その時点で連携出来る機関や園との情報共有が出来る様に努めている。 ・相談員さんを通じて、情報を共有している。 	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	2	<ul style="list-style-type: none"> ・申し出があった場合や、相談員、保護者の要望があった際は提供している。 ・事業所から率先しては行っていないが、求められれば、情報提供はすぐにでも出来る体制はある。 ・子どもの特性や配慮すべき点を伝えられる様にしている。 ・保護者や移行する事業所からの要望がない限り、積極的に行う事はないが、必要に応じて情報共有は出来ている。 ・必要に応じて行っている。 	
31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	2	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて、研修参加や連携を図る様努めている。 ・必要に応じて、調整が行われている。 ・代表者が研修等に参加した際には、改めて内部研修や会議を開催している。 		
32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	6	<ul style="list-style-type: none"> ・今の所機会は設けていない。 ・偶発的に地域の公園や行事、イベントと一緒に活動、触れ合う機会はあるが、何かあった場合のリスク、保険の関係上、あえて交流の場を設ける事は難しい。 ・毎日の各家庭、学校、子どものスケジュールや状況を中心に業務を進める上で、実現は難しい機会があれば検討したい。 ・引継ぎ等で情報を交換している。 ・積極的に地域イベントにも参加している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平日は物理的に交流、活動する時間を設ける事は難しいが、地域との交わりを意識しながらイベント活動の企画を検討していきたい。 	

	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	5	3	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて、参加している。 ・まだ、積極的な参加には至っていないが、機会があれば、参加を希望している。 	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> ・書面や対面、TEL等にて、情報伝達を行い、共通認識を持っている。 ・送迎時等で保護者とのやり取りを行っている。 ・連絡帳での情報交換や共有、送迎時の引継ぎにて、伝え合っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・完全な共通理解は難しくとも、出来る限り、お子様、保護者様により添う事で、関係を築き、お子様の成長、課題、目標等について、伝え合える様努めている。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	2	<ul style="list-style-type: none"> ・家族参加の研修は行っていないが、参加可能なイベント情報や、教育支援に関するアドバイスをケースにより行っている。 ・活動中の子ども達の様子等をHPで伝える取り組みもしている。 ・療育を離れた部分での支援は難しい面もあるが、家族支援が療育にも直結すると捉え、向上意識を持って対応力を付けるように努めている。 	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> ・契約時に説明している。 ・日々の気付いた事等を伝えている。 ・主に管理者によって行われており、必要があれば、随時説明も行っている。 	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> ・本人、保護者共に、達成目標や意向等のニーズの聞き取りを行い、意思の尊重に努めている。 ・計画作成の為の様子の観察を意識して行い、気付いた事を報告している。 ・日々の聞き取りの他、モニタリングシート等も活用し、管理者が作成を行っているが、職員による療育中のモニタリングや保護者とのやりとりで、こまめに確認を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者様の中には、『お任せ』の姿勢になってしまうケースもあり、意見をどれだけ、引き出していけるかという課題がある。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> ・説明、同意の上、署名、押印を頂戴している。 ・わかりやすく伝えるように心がけている。 ・支援計画作成後、保護者に確認していただき、押印やサインにて同意を得ている。 	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> ・相談等あった際は丁寧に寄り添い、最善のアドバイスが出来るよう努めている。 ・保護者からの相談には支援員も丁寧に対応し、必要に応じて、上司に報告している。 ・連絡帳の活用や送迎時の引継ぎの他、電話での対応も行っており、支援へと繋げている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・相談内容が多岐に渡り、子育て等から逸れるケースもあり、関係性を大事にしながらも、一定の線引きの見定めが必要の場合もある。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	8	<ul style="list-style-type: none"> ・現在は保護者会等を開催する機会や支援は行っていない。 ・広範囲での地域での利用であったり、保護者の事情や職員の配置を考慮すると実現は難しいが、個々に保護者等家族とのコミュニケーションは欠かさぬ様になっている。 ・子どもの姿や、活動の様子はこまめに保護者に伝えている。 ・事業所主催での父母の会や、保護者説明会は開催していない。今後必要があれば検討したい。 ・保護者同士の交流については、環境を整えて行う必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者参加型のイベントの検討もあるが、居住地が広範囲である為、交通の面等を考慮した場合に、実現には難しい所がある。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> ・苦情等あった際は、誠意を持って丁寧に、正確に対応するよう努めている。 ・職員全体で相談、共有している。 ・いただいたご意見は随時参考にし、職員会議にて、情報共有と意見交換を行った上で、対応や改善を行っている。 	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> ・適宜、HP等において、活動の様子やお知らせ等の情報を発信している。 ・SNSの活用に関しては安全面の観点から、検討中である。 ・HPで日々の活動を発信している。 ・活動の様子は随時ホームページに掲載し、行事予定や連絡事項についても発信している。 ・ホームページを作成して、活動の様子や情報を発信している。 	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフ全員、十分に留意している。 ・利用児童が、他児の指名、写真を持ち出すという事案もあり、それらを想定した取り扱いにも留意している。 ・個人情報の取り扱い、配慮した行動を意識している。 	
44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> ・児童、保護者共に特性等を理解し伝達方法に配慮している。 ・コミュニケーションを密にして、家庭状況を考慮した関わりを心がけている。 ・保護者への連絡も丁寧に行っている。 ・療育を行う為に不可欠であり、出来る限りの配慮に努めている。 		

	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	1	<ul style="list-style-type: none"> ・今の所、地域住民招待等の企画はない。 ・利用児童の特性上の観点、安全上の観点等から、あまり必要性は感じない。地域に開かれたという点では、地域の行事、イベントには積極的に参加していきたいと考えている。 ・実現にはいくつかのハードルが、可能であれば、検討したい。 ・地域住民の招待は行っていないものの、地域のイベントへの参加はあり、存在の周知へと繋げている。 	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> ・各種マニュアルを整備し、フローチャート化したものを掲示している。年間計画を通じ定期的に訓練や研修、委員会を行っている。 ・役割を意識して、子どもと一緒に訓練をしている。 ・定期的の実施している。 ・随時行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・周知方法にはやや不安がある。HPIに定期的に投稿する事で保護者にも周知してもらっている。訓練を重ねることで対応力向上を図りたい。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> ・BCP策定とともに、1年に1回、研修と訓練を行っている。（自然災害・感染症ともに） ・会議等で確認を行い、定期的に訓練を行っている。 ・自然災害、感染症共に研修と訓練を実施し、児童が参加する避難訓練も定期的に行っている。 ・年に必要な訓練を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・業務継続計画の策定の基に、非常時に必要な知識と訓練を重ねていき安全に業務の遂行がなされるよう意識を高めておく必要がある。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> ・契約時に確認をとるようにしている。利用経過の中で、新たに発症した事象についても、把握に努めている。 ・てんかん発作は後発的に発症した場合でも、保護者様を通じて、状況、服薬の確認をしている。 ・日々の健康状態に注意している。 ・ご利用開始前の契約時に行う事を必須としており、また、随時確認と対応を行っている。 ・職員間で必ず確認を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事前には既往歴無く、初めての発症の例も有り、常々慌てず、臨機応変に対応する事を心掛ける。 ・新たに対応が必要となったケースは、その時点で全職員への周知を徹底する必要がある。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> ・医師の指示のもと、保護者を通じて、情報の提供をもらい対応している。 ・家庭との連携により、持参食やおやつによるアレルギー事故を防ぐよう努めている。 ・支援前に確認し、注意を払っている。 ・保護者経由で情報をいただき、対応している。 ・個別に対応している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所の設備上、受け入れが困難なケースも考えられる。 ・後発的なものもある為、アレルギー反応らしき症状等が見られた時には、保護者様への連絡、救急対応等、どれだけ判断を誤らずに、最高の対応が行えるかが課題である。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> ・安全計画を策定し、必要に応じて、研修や訓練を行っている。 ・日々、ヒヤリハットや日常の業務報告で検討が必要な事項について話し合い、職員が一貫性を持って、安全管理出来るよう努めている。 ・職員全体で情報共有が行われている。 ・研修や訓練を行う事で、不備等を明確にし、その都度改善していく事で、安全管理の向上へと努めている。 	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> ・特に配慮を必要とする児童については、保護者と、取り組み内容の共有を行うよう心掛けている。 ・安全管理に必要な対応を保護者と共有している。 ・外出時等、慣れない場所での活動時に起こり得る危険性を想定し、事前に確認をいただく事で周知している。 ・ハンドブックを作成して、家族とも周知出来ている。 	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> ・微細や事象についても記録として残す事に努め、再発防止の方策を検討している。 ・再発しないように、工夫した事を話し合っている。 ・各職員が気付きを発信し、再発防止に向けて、ケースごとに検討と対応を行っている。 	
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> ・外部研修ののち、内部研修を行い、常に意識の向上に努めている。 ・定期的な研修の場がある。 ・随時行われているが、今後定期的な実施で強化していきたい。 		

	54	<p>どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。</p>	8	0	<ul style="list-style-type: none"> ・特に必要とする児童については、特性に配慮した上で、安全確保が最優先になるよう組織で決定している。また、計画書に記載の上、事前に保護者の同意、了承を得ている。 ・特に身体拘束は行っていないものの、シートベルトをすぐに外してしまう児童に関しては、チャイルドシートやそれに代わる物等、保護者の承諾を得て、自ら脱着出来ない仕様の物を使っている。 ・保護者からの同意や説明を丁寧に行うよう心がけている。 ・療育に取り組むにあたり、安全確保が第一である事から、保護者への説明後、了承いただき、反映している。 ・保護者の了承の上、やむを得ない場合のみ、実行に移している。 	
--	----	-----------------------------------------------------------------------------------------	---	---	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--